



平成 25 年 2 月 22 日
神栄テクノロジー株式会社
神戸市中央区京町 77 番地の 1
神栄ビル 5 階
取締役社長 中川 太郎

PM2.5 等の微小粒子状物質を簡易的に連続測定するセンサを開発。発売へ

大気汚染に係る環境基準の中で、PM2.5 に注目が高まっています。
神栄テクノロジー株式会社は、より簡便に、多くの地点で、大気汚染の原因の1つであるPM2.5等の微小粒子状物質を連続測定できるセンサの開発を進めており、2013年6月をめどに発売開始します。



品 名 : PM センサ(仮称)
発売予定日 : 2013 年 6 月頃
販売価格 : 未 定

URL : <http://www.shinyei.co.jp/stc/optical/index.html>

概 要

近年、日本国内では中国大陸から流れてくる黄砂や、もやによる健康被害も報告される中、大気汚染防止法に基づき地方公共団体によって全国 500 カ所以上で、PM2.5 の常時監視が実施されていますが、環境省は、測定場所を約 1300 箇所に増やすことを発表しています。

神栄テクノロジー株式会社では、長年培ってきた粒子センサ技術を活かし、数年前よりこの PM2.5 の連続測定を簡易的に行うことを目的としたセンサ開発に取り組み、国内外での実地測定実験を行ってまいりました。

地形や地域の特徴や車の交通量による濃度の差は大きくなることから、より簡易的な管理・分析手段を求めるニーズや、安価なコストでより多くの地点での連続測定をするニーズに対して、ユーザー層を広げていきます。

測定ネットワークを構築できる企業や気象測定業者、各研究機関への評価セットの提供をしながら、最終製品の早期販売開始につなげていきます。

新開発製品「PM センサ」の特徴

長年の粒子センシング技術で培った弊社独自のノウハウにより、安価、小型でありながら、屋外での連続測定に使用でき、また PM2.5 の標準測定法と等価性が認められた自動測定器 (FEM) に対して高い相関性を持つセンサです。

1. 米国環境保護庁 (EPA) や環境省で、PM2.5 の標準測定法と等価性が認められた自動測定器に対して高い相関性のある連続測定を実現。
2. 小型な形状で、LAN 出力を有していることで、測定ネットワーク構築が容易。
3. 等価性認証済み自動測定器と比較して、大幅に安価なセンサを測定手段として提供できることにより、より多くの場所での測定が可能。

様々な機器へのセンサの組み込み、より多くの場所への設置が可能で、離れた場所からリアルタイムで連続的なデータ収集が容易になります。

神栄テクノロジー株式会社は、空気を“測る”プロフェッショナルとして、湿度センサ・ホコリセンサ・ガスセンサ・花粉センサ及び関連製品を開発・販売しており、快適と安心を支える「感じる、測る、試す」スペシャリストとして、更なるセンシング技術の向上を目指します。

<本件に関するお問い合わせ及び資料請求先>

神栄テクノロジー株式会社 環境機器部 環境計測グループ(担当:小山)

TEL:078-392-6914 FAX:078-332-1619

E-mail : b-koyama@stc.shinyei.co.jp

URL: <http://www.shinyei.co.jp/stc/>